

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

SRS-TD60

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



* 4 1 4 1 1 7 2 0 2 * (1)

©2009 Sony Corporation Printed in Malaysia

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：

付属の AC パワーアダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセント（AC100～240V）につないでお使いください。

AC パワーアダプターについて：

AC パワーアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ず AC パワーアダプターを持って抜いてください。

留守にするときは：

本機の POWER（電源）スイッチを OFF にしただけでは、電源は完全に切れていません。ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ず乾電池を抜き、AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。

異物について：

特に、ジャックには異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら：

万一、異常や不具合が起きたときや異物が中に入ったときは、すぐに AC パワーアダプターや乾電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 次のような場所は避けてください。
 - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
 - 一窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
 - 風呂場など、湿気の多い所。
 - ほこりの多い所、砂地の上。
 - 時計、キャッシュカードなどの近く。（防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。）
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。

モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型（JEITA*）のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起こる場合があります。

色むらが起きたら

いったんモニターの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは

スピーカーをさらにモニターから離してください。

さらに

スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物

ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

* JEITA は（電子情報技術産業協会）の略称です。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

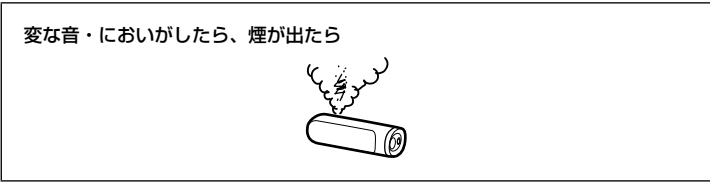
定期的に点検する

1年に1度は、AC パワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- 電源を切る
- AC パワーアダプターや乾電池を抜く
- ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



ぬれ手禁止

危険 下記の注意事項を守らないと **火災・感電・発熱・発火** により **死亡や大けが**の原因となります。

指定以外の AC パワーアダプターを使わない

必ず指定の AC パワーアダプターを使用してください。破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



禁止

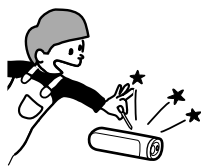
警告 下記の注意事項を守らないと **火災・感電**により**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、AC パワーアダプターや乾電池を抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



ぬれた手で AC パワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



本体や AC パワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止



下記の注意事項を守らないと **けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。



下記の注意事項を守らないと

けがをしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CD、DAT やデジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。



禁止

長時間使用しないときは AC パワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のため AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、AC パワーアダプターを抜く

AC パワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による

大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池

単3形アルカリ、単3形マンガン

危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは、**素手で液をさわらない**

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

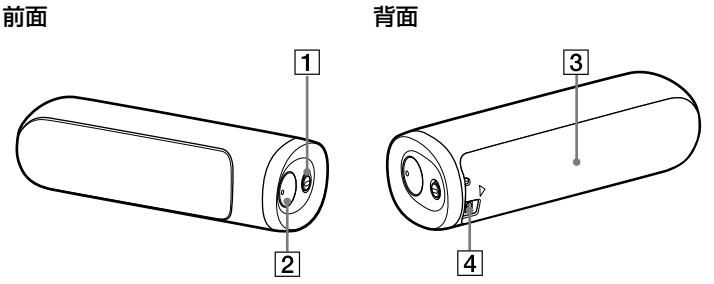
警告

- 機器の表示に合わせて＋－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

各部のなまえ



- ① POWER（電源）スイッチ
- ② VOL（音量）ダイヤル

- ③ 電池ケース
 - 単3形乾電池3本（別売り）を入れます。

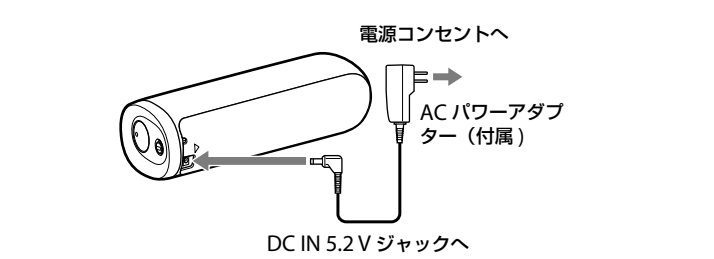
- ④ DC IN 5.2V 端子
 - 付属の AC パワーアダプターをつなぎます。

電源について

本機は、付属の AC パワーアダプターを家庭用コンセントに接続、または別売りの単3形乾電池3本を入れて使える2ウェイ電源方式です。本機をお使いになる状況に応じて、電源方式をお選びください。

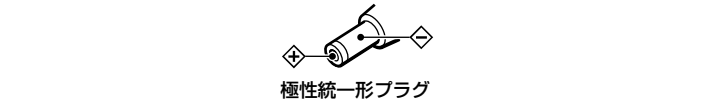
電源コンセントにつないで使う場合

付属の AC パワーアダプターを本機に接続します。本機に AC パワーアダプターを接続すると、乾電池が入っていても自動的にコンセントからの電源に切り換わります。



ご注意

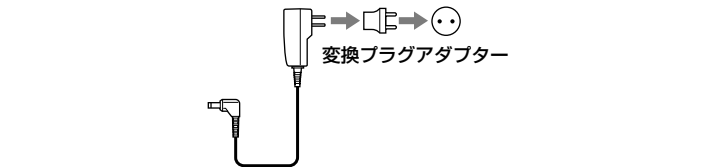
- AC パワーアダプターを抜き差しする前に電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になる場合があります。
- AC パワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- この製品には、付属の AC パワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA 規格）をご使用ください。付属以外の AC パワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



- AC パワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- AC パワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、AC パワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、AC パワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

海外で使うときは

付属の AC パワーアダプターは、AC100～240V、50/60Hz の範囲でお使いいただけますので、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですので、お出かけ前に旅行代理店などでお確かめください。

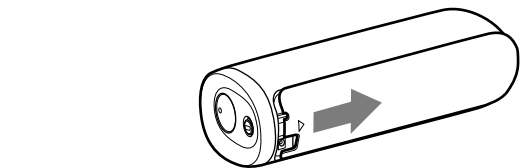


ご注意

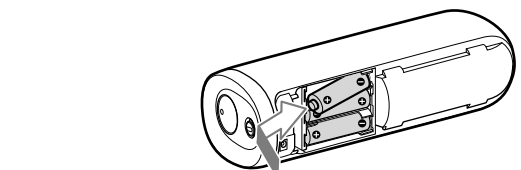
海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器（トラベルコンバーター）」などをご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

別売りの単3形乾電池を使う場合

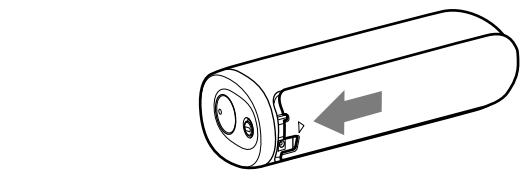
- 背面にある電池のふたの▷部を軽く押しながら開ける。



- 別売りの単3形乾電池を入れる。



- 電池のふたを閉じる。

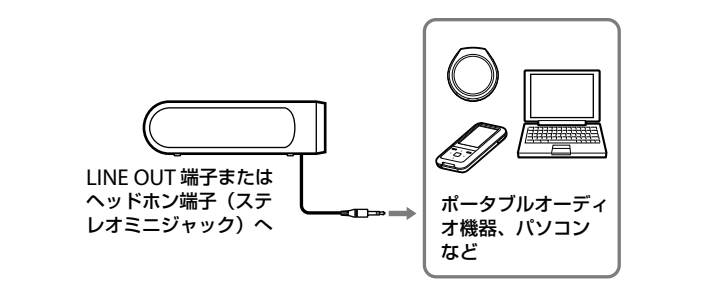


乾電池の持続時間	(総合 10mW 出力時)
電池の種類	持続時間
ソニー単3形アルカリ乾電池 LR6(SG)	約 30 時間*
ソニー単3形マンガン乾電池 R6	約 10 時間*

* 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

乾電池の交換時期
乾電池が消耗してくると、音が割れたり、ノイズが多くなったり、音が途切れたりします。その場合は、乾電池を3本とも新しいものと交換してください。

接続する



右スピーカーから音が出ないときは

モノラルジャックに接続したときは、左スピーカーからしか音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプター PC-236MS を使うと左右のスピーカーから音が出ます。

標準タイプのヘッドホンジャック（カセットデッキなど）に接続するには

別売りのプラグアダプター PC-234S、または接続コード RK-G138 をお使いください。

使いかた

突然大きな音が出て耳を痛めないように、本機の VOL（音量）ダイヤルでスピーカーの音量を最小にしてください。また、接続した機器の音量も下げてください。

- 本機の POWER（電源）スイッチを ON にする。
- 接続した機器を再生する。
- 音量を調整する
 - 接続した機器を適度な音量にして、本機の VOL（音量）ダイヤルで調整します。
- 本機の POWER（電源）スイッチを OFF にする。

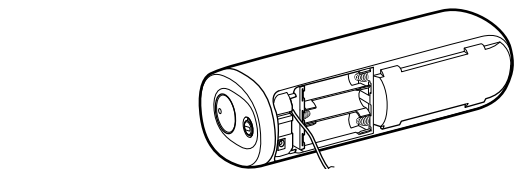
ご注意

- 乾電池が消耗してくると、音が割れたり、ノイズが多くなったり、音が途切れたりします。その場合は、乾電池を3本とも新しいものと交換してください。
- ラジオまたはチューナーを内蔵した機器に接続した場合、ラジオ放送が受信できなかったり、感度が大幅に低下する場合があります。
- 接続する機器のバスブースト機能やイコライザー機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっていると、音がひずむことがあります。
- ヘッドホンジャックが LINE OUT 端子を兼用している機器に接続した場合は、接続機器の出力を LINE OUT 出力に設定することで、より高音質でお楽しみいただけます。出力設定の操作について詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

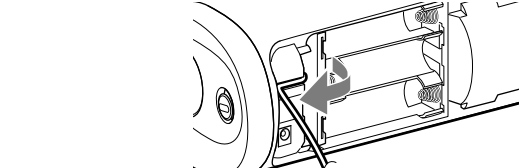
コードを取り出す

コードをガイド溝に沿わせると電池のふたを閉じるときに挟みにくくなります。

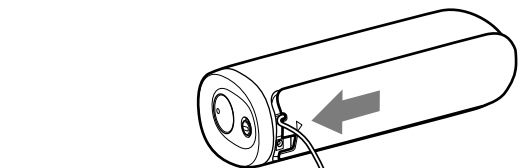
- コードを取り出す。



- 電池ケース横のガイド溝にコードを挟む。



- 電池のふたを閉じる。



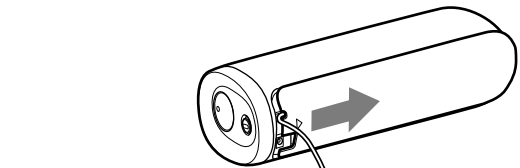
ご注意

- 電池のふたを閉じるときにコードを挟まないでください。

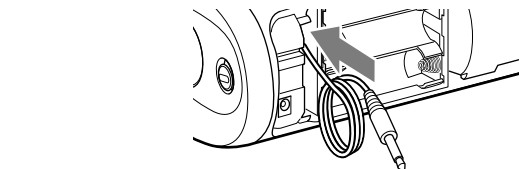
コードを収納する

本機はコードを電池ケース内に収納することにより、ポーチやバックに収納したとき、コードがからみにくく持ち運びに便利です。

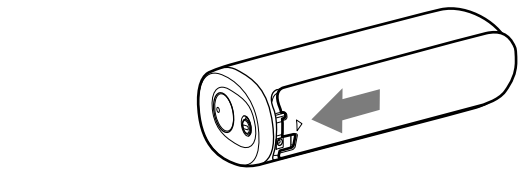
- 背面にある電池のふたの▷部を軽く押しながら開ける。



- 電池ケース横の溝にコードを小さく丸く束ねて収納する。



- 電池のふたを閉じる。



ご注意

- 電池のふたを閉じるときにコードを挟まないでください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
音が割れる、ノイズが出る、または音が途切れる	乾電池で使用している場合、乾電池が消耗している。 入力信号が大きすぎる。 接続した機器のバスブースト機能を使用している。	乾電池を3本とも新しいものと交換する。 接続した機器の音量を下げる。 バスブースト機能を解除する。
	接続した機器のヘッドホンジャックに接続している。	接続した機器に LINE OUT 端子がある時は、LINE OUT 端子に接続する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	いったんはずして接続しなおす。
	テレビに近すぎる所に設置されている。	テレビから離して設置する。
音が小さい、または音が出ない	乾電池で使用している場合、乾電池が消耗している。 POWER（電源）スイッチが OFF になっている。 VOL（音量）ダイヤルが最小に絞られている。	乾電池を3本とも新しいものと交換する。 POWER（電源）スイッチを ON にする。 VOL（音量）ダイヤルで調節する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	いったんはずして接続しなおす。
	入力信号が小さすぎる。	ヘッドホンジャックに接続した場合は、接続した機器の音量を上げる。

主な仕様

スピーカー部

サテライトスピーカー	
型式	フルレンジ密閉型 防磁型 (JEITA*)
使用スピーカーインピーダンス	直径 28 mm 8 Ω
サブウーファー	
型式	ASW（アコースティック・スーパー・ウーファー）型 防磁型 (JEITA*)
使用スピーカーインピーダンス	直径 40 mm 4 Ω

アンプ部

実効出力	1.3W + 1.3W（全高調波歪 10％、1kHz、8Ω）（サテライトスピーカー） 2.4W（全高調波歪 10％、100Hz、4Ω）（サブウーファー）(JEITA*)
入力	ステレオミニプラグ付き入力コード（約 65cm）× 1
入カインピーダンス	10k Ω（1kHz）

電源部・その他	
電源	単3形乾電池3本、DC 5.2V（付属の AC パワーアダプターを接続して AC100～240V 電源から使用）
最大外形寸法	約 206 × 63 × 77 mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約 520 g（乾電池含む）
付属品	AC パワーアダプター（1） キャリングポーチ（1） 取扱説明書（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）
別売りアクセサリ	プラグアダプター PC-234S（ステレオ標準プラグ ↔ ステレオミニジャック）、 PC-236MS（ミニプラグ ↔ ステレオミニジャック） 接続コード RK-G138（ステレオ2ウェイプラグ ↔ ステレオミニジャック）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA は（電子情報技術産業協会）の略称です。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。	http://www.sony.co.jp/support	
使い方相談窓口	フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話・0466-31-2511	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
修理相談窓口	フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話・0466-31-2531 ※ 取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	
FAX（共通）0120-333-389		「309」+「#」 を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

ご愛用者アンケートのお願い
今後のよりよい製品作りの参考にさせていただきますので、お答えいただける範囲で下記ホームページからアンケートにご協力をお願い致します。
http://www.sony.co.jp/uc/
ホームページより回答いただきますと、「製品シリアルナンバー」という入力欄があります。この欄には、本機底面の機銘ラベル内にございます7桁の数字をご入力ください。（なお、アンケート受け付け期間は、発売より約2年です。あらかじめご了承ください。）

製品カスタマー登録のおすすめ
製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、カスタマー登録をおすすめしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。
http://www.sony.co.jp/avp-regi/